

## 自転車交通について

令和4年2月に「板橋区自転車活用推進計画」が策定され、今後の区内道路の整備計画が示されました。2030年までに半分程度が整備される予定です。自動車にとっても、歩行者にとっても、自転車にとっても安全に通行できる道路となるように、1日も早い整備を推進します！

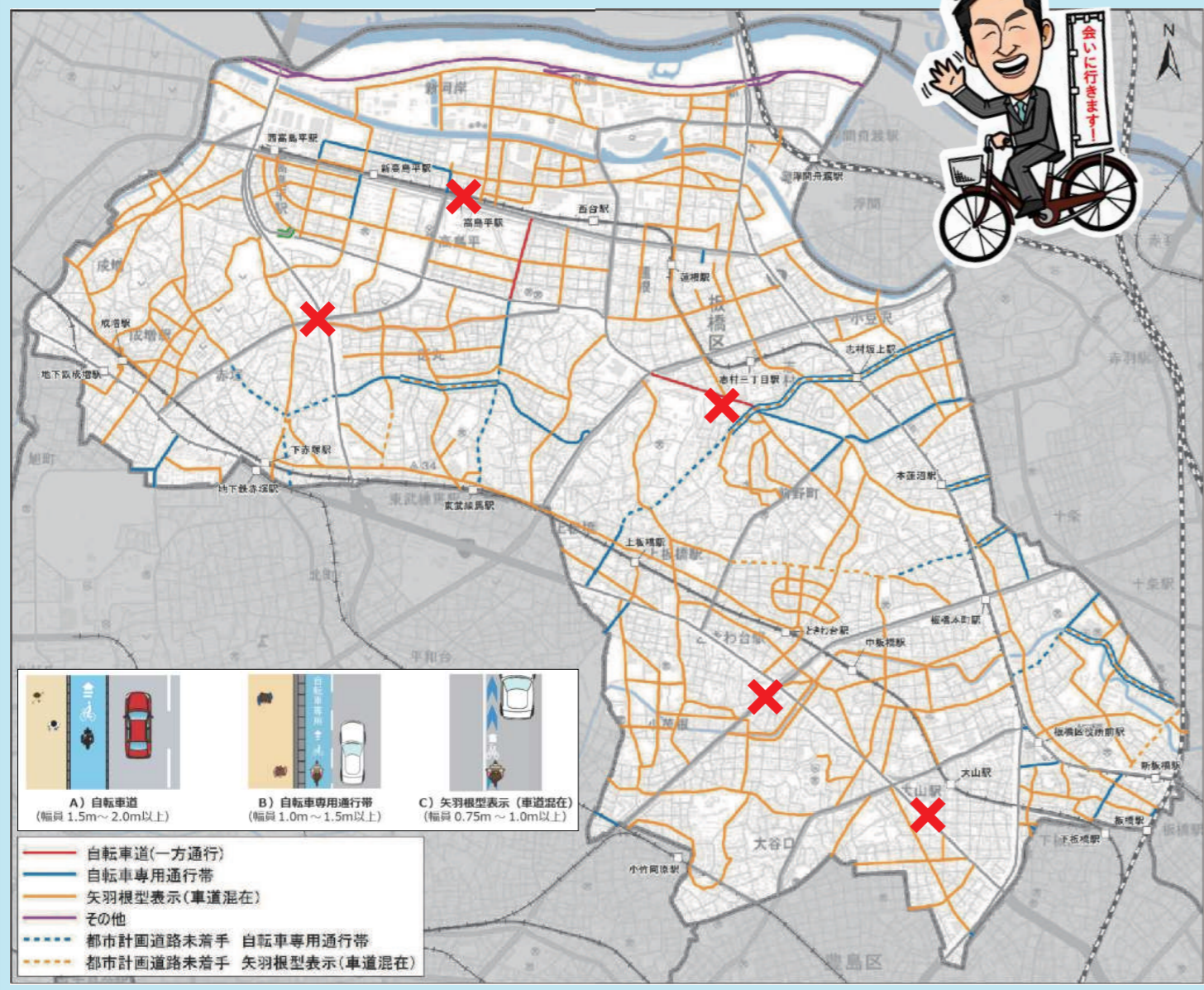
## Point!!

- ① **自転車専用道路：赤**  
**自転車専用通行帯：青**  
**矢羽型表示：黄**  
→ほとんどが矢羽型表示
- ② 国道、都道は整備対象外  
→区道と連続したネットワーク路線を**検討**していくと記載
- ③ **×**は2019,2020年の死亡事故発生箇所  
→ほぼ国道・都道

## おばけんの提言！

- 1、「自転車専用道路」設置を目指すべき！
- 2、重大事故が起きている道路は国道・都道なので連携が重要！
- 3、大人のための自転車マナー講習会を開くべき！

## 自転車用道路 整備形態の選定結果



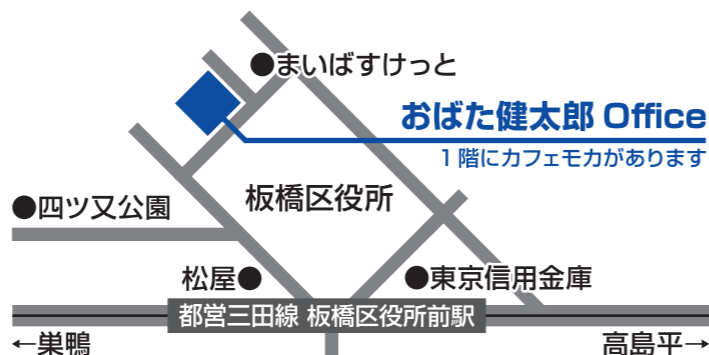
## おばた健太郎事務所

〒173-0004  
東京都板橋区板橋2-64-10板橋新生ビル301  
TEL : 03-6909-6531  
FAX : 03-6385-7640  
MAIL : info@obaken.com  
URL : http://obaken.com  
Twitter : @obaken20j  
FB : @obaken1977

URL



LINE@



# おばた 健太郎

板橋区議会議員



会いに行きます!!

区政レポート  
Vol.12

民主クラブ (立憲民主党・国民民主党・無所属)

## ▶ 第3,4回定例議会 一般質問

防災士、私道助成、いたばしPay、児童養護施設、教育 etc...

## ▶ 板橋区自転車活用推進計画について詳しく解説!!



## 令和5年も引き続き、会いに行きます！

令和5年が始まりました。議席をお預かりしてから、まもなく1期4年が経過します。住みやすい、暮らしやすい街を目指し、これまで区に対して様々な提言をして参りましたが、まだまだ解決すべき課題が山積しています。すでに4年目に入っている新型コロナ対応に加え、国際紛争に端を発したエネルギーや物価の高騰など、私たちの暮らしに直結する問題や、教育、保育、防災対策など。簡単なことは一つもありませんが、真摯に、そして迅速に取り組んで参りたいと考えています。皆さまの元まで「会いに行きます」という言葉が私のモットーです。その変わらぬ信念のもと、区民の皆さまの代弁者として、今の暮らしに対する不安や、行政に対する不満など、思っていること、感じていることを伺い、伝え、しっかりと形にしていきます。引き続き、より良い区政、暮らしのために頑張りますので、何なりとご意見、ご相談をお寄せください。今後とも何とぞよろしくお願いいたします。



## おばけんの政策

「生きる力」を育む教育を！

児童・生徒の学力向上を進めます

子育てしやすさNo1の区に！

今度こそ待機児童ゼロを実現します

災害に強い街づくりを！

現実に即した防災訓練を実施します

風通しの良い板橋区に！

積極的な情報公開を行います

行政のオンライン化促進！

行政サービスのIT化を更に進めます

## プロフィール

1977年(昭和52年)生まれ、板橋区加賀在住。IT企業に10年勤めた後に退職。代議士秘書を経て、板橋の暮らしをより良くするために政治家を志す。地域のPTA、おやじの会、消防団、まちづくり協議会などに参加し、積極的に地域活動に取り組む。妻、息子(16歳)、娘(11歳)の4人家族。石川県金沢市出身。星稜高校、筑波大学第一学群自然学類物理学専攻卒。武蔵野音楽大学別科修了(声楽)



趣味: 声楽、男声合唱、ピアノ、読書、弓道、サイクリング  
やりたいこと: 区民の皆さん全員に会いに行くこと  
板橋の好きな場所: 石神井川の桜並木



## 所属

### 地域団体

板橋区立金沢小学校 PTA 会長  
板橋区立小学校 PTA 連合会 会計  
板橋区立金沢小学校おやじの会  
板橋消防団 第一分団 分団長  
加賀まちづくり協議会 会員  
板橋石川県人会 幹事長・会計  
板橋宿不動産通り商店街青年部 会員  
板橋法人会 会員  
板橋法人会 青年部 会員  
加賀五四自治会 防災副部長  
声楽家 加茂下穂 門下生  
アーティストバンク板橋 グループ・ミニリトメンバー  
板橋区混声合唱団 団員  
板橋茨城県人会 幹事  
NPO 法人 ピースオブファミリア 幹事  
NPO 法人 政策学校 一新塾 22期生  
小沢一郎政治塾 11期生 幹事長

### 板橋区議会

常任委員会 健康福祉委員会  
高齢福祉、健康及び保健衛生、保健所、介護保険、国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療制度、障がい者福祉、その他の社会福祉  
特別委員会  
地域・経済活性化調査特別委員会  
地域・経済活性化に関する調査





防災士支援制度

Q おばた 防災士になるには研修講座を受講し、試験に合格しなければならないが、総額で6万円程度の高額の費用がかかる。23区では千代田、港、新宿、文京、目黒、世田谷など、多くの自治体が助成金制度を設けている。防災士取得に対する助成制度導入を検討すべきと考えるが見解は。

A 区長 「防災リーダー入門コース」を動画受講可能とするなど、防災リーダー育成の取り組みを行っている。防災士の助成制度については、今後、研究をしていきたい。

おばけんポイント 多くの区で行われている助成制度を板橋区でも実施すべきです！

協同労働について

Q おばた 協同労働は主体的かつ自由度の高い働き方ができ、介護、福祉関連や、子育て関連、地域づくり、自立支援など、なくてはならない業務の担い手の一つとして注目されている。協同労働の設立相談や業務相談に対するサポート体制が必要。墨田区や台東区では勉強会を実施し、関係部門の整理を行っている。現在のサポート体制を伺う。

A 区長 国や東京都が制度の概要説明や法人設立の相談など幅広いサポートを行っている。区では問合せ等に対して、国や東京都の担当部署へつなげるなど、必要に応じて窓口機能を担っていききたい。

おばけんポイント 区としても協同労働を後押しするよう、サポート機能の充実を図るべきです！

協同労働とは??

労働者協同組合とは、労働者協同組合法（令和2年法律第78号）に基づいて設立された法人で、組合員が出資し、それぞれの意見を反映して組合の事業が行われ、組合員自らが事業に従事することを基本原理とする組織です。労働者協同組合法は、一部を除き、令和4年10月1日に施行されました。



協同労働を実践しているこぶし保育園を視察(2021/10)

私道助成について

Q おばた 劣化が進んだ私道の手すりを補修してほしいという要望が。手すりは、道路と比較して劣化する可能性が高い。現在、私道補修助成の際に手すりも併せて補修できるが、手すりのみの設置、補修だけでは活用できない。「私道上の手すり」の助成制度を検討してはどうか。

A 区長 私道の手すりは、私有の空間でありながら、介護制度が適用される屋内と公道の道路施設とのほざまにある制度上の問題である。私道の環境整備の一環として行う手すり設置助成の可能性について、制度設計の検討を進めていきたい。

おばけんポイント かなり前向きな答弁です！私道上の手すりに対する助成金制度創設に向けて、提言を続けて参ります！

教育支援について

Q おばた 足立区では、学習意欲はあるが家庭の経済的事情で塾などに通えない生徒に対し、区営の学習塾や、夏季勉強合宿、個別指導による集中授業を行っている。こういった施策によって、希望の高校に進学できた、などといった結果も見られ大変好評である。学習活動に課題を持つ生徒だけではなく、学習意欲は高いが、家庭の経済的事情を抱える生徒に対しても支援が必要。現状を伺う。

A 教育長 各学校で、算数、数学や英語の授業において、習熟度別にクラスを編制し、個別最適な学習の実現を目指している。板橋サマーイングリッシュディとして、オンラインでALTと会話し、話すことの技能を向上させる取り組みも実施した。中高生勉強会や教育科学館でのSTEAM教育なども視野に入れながら、誰一人取り残さない支援を充実させていきたい。

おばけんポイント 家庭の経済的事情で、高い学習意欲が失われてしまわないような支援が必要です！

自転車交通について

Q おばた 自転車の安全な通行空間の整備が求められている。現状では車も自転車も歩行者も危険が伴う状態である。オランダのアムステルダムでは、自動車、自転車、歩行者の道路が完全に分けられており、安全に走行できる環境が整っている。自転車が安全に走行するためには、自転車専用道路の整備を目指すべきであると考えが見解は。

詳しくは次ページに!!

A 区長 自転車専用道路は、自転車だけの走行に着目した場合、快適かつ安全な走行空間となる。本区のような市街地では、限られた道路区域で自転車が独占的に走行できる空間の整備は、現実としては難しい状況にある。

おばけんポイント 全ての区道に自転車専用道路を設けるのは難しいですが、まちづくりの方針の一環として、今後も粘り強く訴えていきます！

いたばしPAYについて

Q おばた 10月からいたばしPayがスタートした。事業者に対して売上げの8%キャッシュバック、消費者には30%のプレミアムがあるが、この喚起策が終わった後でも長く使われる仕組みづくりが必要。区のイベントやボランティアに対してポイントを付与する制度を提案する。いたばしPayを持続可能な制度としていくための方策について見解を伺う。

A 区長 来年度は、購入金額に応じたポイント付与等の普及啓発策を検討している。「いたばし環境アクションポイント」などを対応させるよう準備中。商店街におけるポイントラリーや店舗広告の掲載なども想定しており、区民生活に密着したデジタル地域通貨として長く使えるよう、今後も支援していく。

おばけんポイント 区民に愛される地域通貨となるよう今後も様々な提案を行ってまいります！

児童養護施設へのサポートについて

Q おばた 区は、養護施設卒園者に対して家賃補助を行う「児童養護施設卒園者住まい応援プロジェクト」を実施し、これまで約1200万円もの寄附が集まっている。現在のプロジェクトでは、補助対象が「進学」に限られており、約6割が就職する現状ではこの支援制度を使えない対象者が多い。支援対象を拡大することを求めるが、見解を伺う。

A 区長 現在、区内に3施設ある児童養護施設の卒園者のうち、進学者を対象としている。令和4年7月から児童相談所業務を開始し、区が措置した児童について、措置が解除された後の自立を支援していく役割を担うべきと考えている。就職者への支援も含めて、対象者の拡大を検討していきたい。

おばけんポイント 前向きな答弁！多くの卒園者に制度を活用していただきたいです！

教員のスキルアップについて

Q おばた 子どもの発達には、個人差が存在している。6年生だからこれくらいできて当たり前など、一律のイメージの押しつけで子どもと接していないか。一人一人の発達に応じた声かけができれば、クラス全体に対する声かけも変化し、さらには、学校生活に適応しにくかった子どもへの支援にもつながることが期待できる。ペアレントトレーニングなどの声かけの手法を取り入れるべきと考えが見解を伺う。

A 教育長 教員がペアレントトレーニングなどの声かけの手法を活用することは、児童・生徒への個別最適な指導となり、子どもたちの適切な行動につながると言われている。声かけは、教員と児童・生徒のよりよい関係を築くための重要な方法の1つにもなることについて、研修などの機会を捉えて周知していく。

おばけんポイント 教育長にも大いに賛同していただきました。教員のスキルアップに役立てていただきたいです！

ペアレントトレーニングとは?

「ペアレントトレーニング」は、子どもの行動を状況に応じた適応行動に導く手法。1970年頃からアメリカで実施され、有効性が科学的に証明されている。子どもの行動を具体的に褒めることで、好ましい行動を増やし、定着させていく。状況に応じた適切な行動を増やし、好ましくない行動を減らすための効果的な褒め方や観察の方法、さらには、好ましくない行動の原因を考え、環境を整えたり、周囲の大人の関わり方を変える手法。

